

いわてグラフ

特集1 増える災害・進む老朽化

安全・安心に暮らせる県土づくり ～河川や道路などの整備～

特集2 メイド・イン・ジャパンを支える

いわてメイドのアパレル



表紙 いわてを支える仲間たち

いわて女性の活躍促進連携会議

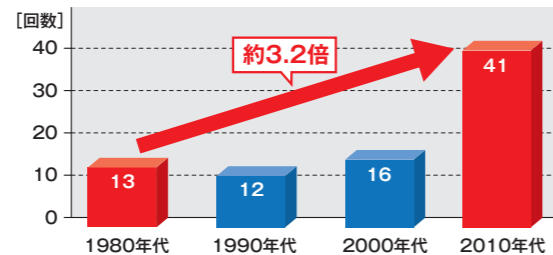
けんせつ小町部会の皆さん

撮影場所／工事中の杜の大橋(盛岡市)

岩手県内で1時間降水量50mm以上が発生した回数(国土交通省統計)

※岩手県内に設置された38箇所のアメダス(雨量観測所)を対象に集計

1時間あたり50mm以上の大雨が観測された地点の年間発生回数は、1980年代と比較すると約3.2倍に増加していることがわかります。



災害による被害の例

平成28年 台風第10号



岩泉町 小本川

令和元年 台風第19号



久慈市 小屋畑川

令和4年 8月大雨



山田町 船越の沢

令和4年 8月大雨



一戸町 馬淵川

河川整備率(令和5年度まで)

全国平均

要整備河川延長 / 255河川(約1,440km)

整備済み 52.7%

約57%

未整備 47.3%

本県で堤防などを整備した河川の整備率は、全国平均約57%※に比べて低い水準にあるため、被災した河川の改修を重点的に推進するなど、河川整備計画に基づき毎年着実に整備を進めていく必要があります。※都道府県管理河川、令和2年度

岩手県は、平成28年台風第10号、令和元年台風第19号など、度重なる自然災害を経験してきました。近年は、地球温暖化の影響による気候変動で、局地的な大雨も増えています。今後も起こりうる災害に備え、河川や道路、砂防施設を整備していくことが必要です。

課題1 増える災害



特集1 増える災害・進む老朽化

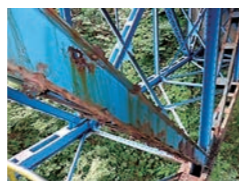
安全・安心に暮らせる県土づくり

~河川や道路などの整備~

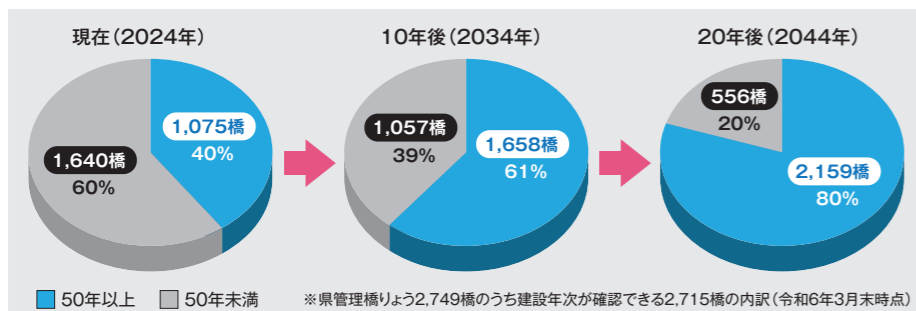
近頃、道路や河川付近などで工事をしている様子を多く見かけませんか。
岩手県はこれまで、東日本大震災津波や台風など、度重なる自然災害からの復旧・復興に取り組んできました。今後も起こり得る災害から県民の大切な命と財産を守り、社会の機能を維持していかなくてはなりません。
今回は、県が進める災害に強い河川や道路などの整備、インフラの老朽化対策の取り組みを紹介します。今後も地域の皆さまとともに、安全・安心に暮らせる県土づくりに取り組んでいきます。

橋りょうの老朽化対策

- 1 岩手県では、約2,700の橋りょうを管理しています。
- 2 高度経済成長期に集中的に整備した多くの橋りょうで、ひびの発生など老朽化が進行しています。
- 3 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を進め、橋りょうの長寿命化を図るため、計画的な修繕などを推進する必要があります。



県管理橋りょうのうち建設後50年が経過する橋りょうの割合



高度経済成長期に集中的に整備した、県内各所の橋りょうやトンネルなどで老朽化が進行しています。県は、点検→診断→措置→記録のメンテナンスサイクルによる維持管理を実施していますが、今後も、これらのインフラの機能が、将来にわたって発揮し続けられるよう、適切な老朽化対策を進めていく必要があります。

課題2 進む老朽化

美しい県土づくりNEWS

SNSで県土づくりの情報を発信しています



表紙



いわてを支える仲間たち
いわて女性の活躍促進連携会議
けんせつ小町部会の皆さん

安全・安心な県土づくりのため、道路や河川などのさまざまな整備に取り組む建設業の人たち。多岐にわたる建設業で今、女性の活躍が注目されています。「いわて女性の活躍促進連携会議」では、建設業で働く女性をもっと活躍できるように「けんせつ小町部会」を発足し、誰もが動きやすい環境づくりに取り組んでいます。

より詳しいお話をサイトで公開中

いわてグラフ専用サイト



CONTENTS

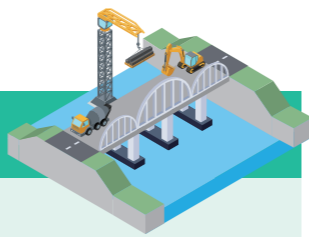
特集1 増える災害・進む老朽化
安全・安心に暮らせる県土づくり ①

いわて県民計画PICK UP! ⑤
テーマは「健康・余暇」/ 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
復興、その先へ「宮古エリア」..... ⑥

特集2
メイド・イン・ジャパンを支える
いわてメイドのアパレル ⑦
このまちが好き【県南エリア】..... ⑨
いわて黄金のマリアージュ
カボチャと「カラダおもい」の農園シリアル」の
簡単チーズリゾット風
岩手県からのお知らせ ⑩

ナシテ? イワテ、ダガラ! イワテ
読者アンケート&プレゼント 裏表紙

老朽化対策



軽米町 猿越橋(一般国道395号)

対策前 クラック(ひび)の発生



対策後 コンクリート、舗装の更新
(令和4年10月完了)



老朽化の進む橋りょうやトンネル、スノーシェルター、スノーシールドなどを適切に維持管理していくため、「点検→診断→措置→記録」のメンテ

対策の効果 ひびの入っていたコンクリートと舗装を、新しく更新し、延命化しました。

西和賀町 大荒沢スノーシールド(一般国道107号)

対策前 腐食が発生



対策後 塗装の塗り替え
(令和3年11月完了)



ナンスサイクルを実施しています。計画的かつ効率的な修繕などを行い、長寿命化を図っています。

対策の効果 腐食が進んでいた鋼製のスノーシールドの塗装を塗り替えて、延命化しました。
※スノーシールド：雪崩対策のために道路を覆うように建てられた屋根付きの設備。

地域とともに

将来のために支え、育もう「私たちの県土」

県は、児童・生徒に対する現場見学会や、橋りょうメンテナンス工事の体験学習会などを実施し、防災知識の向上や将来を担う人材の育成に取り組んでいます。これからも地域とともに、安全・安心に暮らせる県土づくりを進めていきます。



現場見学会(平井賀の沢砂防堰堤)

田野畑小学校の生徒が平井賀の沢砂防堰堤を見学。土砂災害についての出前講座を実施しました。(令和5年10月)

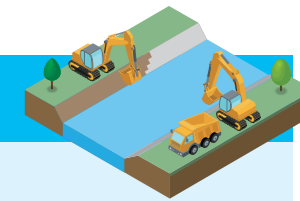


工事体験学習(花巻市・大正橋)

花巻農業高校の生徒が参加した工事体験学習。高所作業車に乗車し、劣化箇所を間近で確認しました。(令和5年9月)

河川や砂防施設、道路の適切な整備により災害のリスクに備え、また、橋りょうの老朽化対策により長寿命化を図っています。

河川整備



岩泉町 小本川(小本川水系)

対策前 洪水による被害
(平成28年 台風第10号)



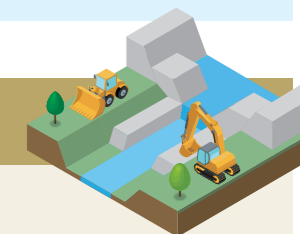
対策実施中 河川の幅を広げる整備
(令和6年度完成予定)



対策の効果 川幅を広げた結果、大雨による水位の上昇を抑え、令和5年台風第7号の際には浸水被害を防ぐことができました。

台風や大雨による被害を防ぐため、川幅を広げ、護岸や堤防の整備を実施しています。また、河川内に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにして、洪水被害の発生リスクを減らします。

砂防施設整備



釜石市 尾崎白浜の沢(その他水系)

対策前 土石流による被害
(令和元年 台風第19号)



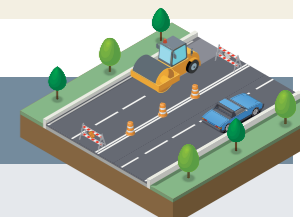
対策後 砂防堰堤を建設
(令和4年6月完成)



対策の効果 砂防堰堤を建設し、下流の人家71戸、市道などを守っています。

台風や大雨によって生じる土石流を受け止め、土砂災害を軽減するための砂防堰堤の建設や、崩れ防止対策の実施などにより、下流にある人家や道路、避難施設などを守ります。

道路整備



盛岡市・矢巾町 徳田橋(一般県道大ケ生徳田線)

対策前 旧橋:昭和37年架設
(幅員6m)



対策後 新橋:令和6年3月開通
(幅員15m/車両2車線+両側歩道)



対策の効果 ●老朽化した徳田橋を架け替えることで、災害に強い道路となりました。
●旧橋よりも幅が広がったことで、車両などが安全に通行できるようになりました。

道路の被害は、災害時の救援救助や支援助物資の輸送に大きな影響を及ぼします。橋りょうの耐震性の強化や狭い道路を広げることなどにより、災害に強い道路ネットワークを整備しています。

一人ひとりの幸福を守り育てる「いわて県民計画(2019~2028)」

10の政策分野から今回は **健康・余暇** をPICK UP!

「チームオレンジ」とは、地域の認知症の人と家族を支えるために、認知症について勉強した認知症サポーターがチームを組んで支援を行う取り組みで、認知症の人やその家族もチームの一員として参加しています。



笑顔で活動!地域の居場所「おれんじデー」開催

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

県内では、2021年にいち早く「チームオレンジ矢巾」が結成され、本人・家族、医療福祉関係者、行政、ボランティア、地域の店舗などが一体となり、本人や家族が気軽に集える居場所をつくり活動を展開、現在約100名が参加しています。矢巾町地域包括支援センターの鱒沢陽香さんにお話を伺いました。

「年々仲間が増え、手ごたえを感じています。地域に理解者をさらに増やすとともに、認知症の人にもっと参加いただきたいです。認知症II支援される対象と思われるがちですが、認知症になってもできることは

DATA
矢巾町地域包括支援センター
紫波郡矢巾町又兵衛新田
5-67-1「ケアセンター南昌」内
019-611-2855



認知症地域支援推進員
鱒沢陽香さん

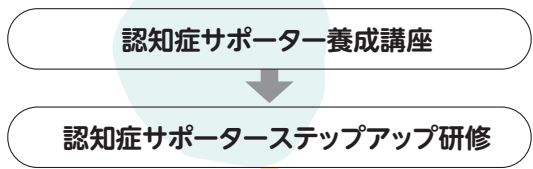
たくさんあります。草刈りや花植えなど、できることを一緒にやったり役割を持つことで、本人も張り合いが出てくるはず。また、県内のチームオレンジは横のつながりがあるので、互いに情報共有したり刺激しあうことで、ボランティアのモチベーションにつながっています。地域の輪がさらに広がっていくといいですね。」



いわて 県民計画 PICK UP!

9月は「認知症月間」です。県は、誰もが認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐしくみ「チームオレンジ」の立ち上げを支援しています。

いわて県民計画についてもっと詳しく知りたい方はこちらをチェック!



チームオレンジのメンバーへ



認知症に関する相談窓口はこちら

- お住まいの市町村の地域包括支援センター
- 基幹型認知症疾患医療センター
学校法人岩手医科大学附属病院
019-652-7411
- いわて認知症電話相談
フリーダイヤル 0120-300-340



地域包括支援センター

*認知症サポーターにご興味のある方は、お住まいの市町村へお問い合わせください。

田野畑北IC

田野畑中央IC

道の駅
たのはた
思惟の風

田野畑南IC

島越ふれあい公園

鵜の巣断崖IC

E45

三陸縦貫自動車道

岩泉龍泉洞IC

道の駅
いわいずみ

岩泉南IC

田老北IC

田老真崎海岸IC

道の駅
たろう

田老南IC

宮古北IC

うみどり公園

道の駅
みやこ

宮古港IC

宮古中央JCT

宮古南IC

山田北IC

山田IC

道の駅
やまだ

鯨と海の科学館

3

山田南IC

↓大槌



震災伝承施設
詳しくはHPで

復興、その先へ。

未来へつながる三陸

「より良い復興～4本の柱～」を軸として、着実に復興に取り組む三陸。復興の今に触れ、「その先」へ進む三陸を訪れてみませんか。

4本の柱

- 安全の確保
- 暮らしの再建
- なりわいの再生
- 未来のための伝承・発信



浄土ヶ浜

宮古
エリア

学ぶ

① 島越ふれあい公園



自分の身を守る
ことが大事

▲三陸鉄道島越駅から3分ほどの
所にある「島越ふれあい公園」

◆大津波語り部
小野寺しげ子さん



旧駅舎の跡地に整備した津波の猛威を再認識する

東日本大震災津波で流出した旧駅舎の跡地に整備された「島越ふれあい公園」。津波に耐えた宮沢賢治の詩碑や崩壊した階段の遺構、到達した津波の高さ（17.9m）を示す塔などから、その威力がわかります。田野畑村の大津波語り部の話から、震災時の避難や救助の様子、そして命の尊さを学ぶことができます。

◎NPO法人体験村・たのはたネットワーク
0194-371-211



楽しむ

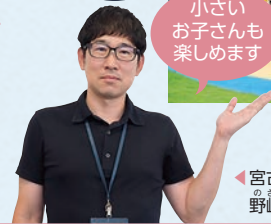
② うみどり公園



小さい
お子さんも
楽しめます

▲公園には楽しい
遊具がたくさん

◆宮古市都市計画課
野崎陽介さん



インクルーシブ遊具で
みんなで遊べる楽しい公園

旧宮古市役所庁舎の跡地に整備され、2021年にオープンした「うみどり公園」。年齢、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるよう設計された、東北初のインクルーシブ遊具がある公園として人気です。大型複合遊具や「いろいろいるブランコ」「音の遊具」など、思う存分楽しめます。

◎宮古市都市計画課
0193-622-111



立ち寄る

③ 鯨と海の科学館



海の
生き物は
楽しいよ



▲海の中をイメージした館内
キャプテンの漢敏さん



大迫力のマッコウクジラ！
三陸の海を学ぶ科学館

クジラを通して海を学ぶ科学館。館内の展示は、まるで海の中を回遊しているかのようです。東日本大震災津波で被災しながらも流されずに残ったマッコウクジラの骨格標本は必見。手作りの生態模型もたくさんあります。「海藻しおり」「貝殻アート」などのワークショップも人気です。

◎鯨と海の科学館
0193-843-985



メイド・イン・ジャパンを支える

いわてメイドの アパレル

海外生産のアパレルが増える一方で、優れた技術で「メイド・イン・ジャパン」のファッションを支えているのが「いわてメイド」のアパレル産業です。
世界レベルの技術力を誇る縫製企業が集積している北いわてでは、縫製業の国内回帰に向けて奮闘しています。また、優れた技術集団として、次代を担う人材育成に向けたさまざまな取り組みを進めています。



技術向上とともに長く働ける会社づくりを



「ひと手間へのこだわりが製品の評価にもつながっています」
社長の森奥信孝さん
岩手モリヤ株式会社
本社/久慈市夏井町大崎13-3-3
0194-53-5327

北いわて・久慈市にある「岩手モリヤ」は、婦人高級ジャケットやウールコートなど、いわゆるプレタと呼ばれる重衣料を得意とし、卓越した縫製技術とともに生産性向上を追求している企業です。「縫製業は人の手による仕事が多い労働集約型産業です。現場を支える従業員の9割が女性で、その豊かな感性や技術が仕様書にはない付加価値を生み出しています」と森奥社長。同社では、働きながらの国家検定取得のサポートや働き方改革も積極的に進め、ひとりでも多くの技術者の育成と若者・女性が働きやすい職場づくりを目指しています。

いわての地場産業（アパレル）は

若者や女性が長く働けるフィールドです

岩手モリヤに入社して50年、婦人子供服製造技能士1級の資格をもち、日本ファッション産業協議会の「Jクオリティ・アワード2019」も「づくりの達人たち」にも選ばれた下館るり子さん。現在は、主に量産前のサンプル縫製に携わりながら、後進の育成に力を注いでいます。



「縫製の仕事は、時代や素材に合わせて対応力が求められるため、やりがいも持続する仕事です。自分のアイデアが商品化に活かされるなど、メーカーと格差なくものづくりを共有しながらチャレンジしていける楽しみもあります。今は社内での働き方改革

が進み、労働条件や待遇が改善され、働きやすい環境がさらに整ってきました。もっと若い方や女性にファッションや縫製に興味をもっていただき、技術を磨きながら楽しんで挑戦してほしいと思います」と次代にエールを送ります。



若者・女性が
働きやすい
環境です
岩手モリヤ株式会社
下館るり子さん

次代のアパレル産業を担う 若者女性の活躍を応援

県は、地域経済と雇用を支える県内アパレル産業の振興と発展に向け、官民協働で若手のアパレル事業を支援しています。県のこれまでの取り組み例をご紹介します。

洋服づくりのプロセスを知る
ブランディングや
マーケティングを学ぶ
岩手の伝統工芸を体験する

いわてのアパレルしごと 研究Tour(ツアー)

県は、大学・専門学校等の学生を対象に、夏季休暇期間に合わせて見学ツアーを開催。アパレル産業のマーケティング戦略、裂き織りなどのホームスパンから高級ニットまで幅広いものづくりの魅力を学ぶインターンシッププログラムを実施しています（今年度の募集は終了しました）。



令和6年度 実施プログラム例

有限会社クラスター
高級ダウンウェア製造に特化して技術を磨き、自社ブランドの立ち上げに至るまでのブランディングやマーケティング戦略について社長からお話をお聞きするプログラムです。

**株式会社
みちのくあかね**
全国唯一のホームスパンの産地岩手で、66年の伝統を活かし、新しい製品づくりにも挑戦しています。織り機で実際にコースターを制作し、ものづくりの魅力を学ぶプログラムです。



岩手の若い力と
最新デザインが集結！

北いわて学生デザインファッションショー

北いわてに集積する縫製業の人材育成と認知度向上を目的に、平成25年度から令和4年度までに計9回開催。学生デザインコンテストの入賞作品をもとに北いわての縫製企業が制作した衣装のほか、北いわての企業の女性たちで組織する「北いわて仕立て屋女子会」が制作した作品の披露を行いました。



▲第9回入賞作品はこちら

「いわてアパレル若者女性活躍推進イベント(仮称)」を開催します

◎開催日/令和7年2月10日(月)~2月16日(日) ◎会場/イオンモール盛岡 特設会場
県のアパレル産業のイメージアップを図るとともに、次代のアパレル産業を担う人材確保を図るため「いわてアパレル若者女性活躍推進イベント(仮称)」を開催します。県内および県外(青森県、秋田県、宮城県)の学生・生徒を対象に公募したファッションデザインの中から、優秀作品を県内アパレル企業が制作。学生の夢をいわてのプロの手で形にした制作品の数々をぜひご覧ください。 [詳しくはこちら](#)

お知らせ

イベント内容

いわてアパレル学生デザインコンテストのデザイン画の展示、同コンテスト入選者の表彰や入選作品発表、県内アパレル企業および北いわて学生デザインファッションショー衣装、イワテメイドアパレルプロジェクト製品などの紹介を行います。



岩手県公式観光サイト
いわての旅「県南エリア」▶



4広域振興局がお届け!

この 好き まもちが

県南エリア

今回は、県南広域振興局
エリア、県立西和賀高等
学校の生徒から地域の
魅力をお聞きします。

県立 西和賀高校の みなさん

Profile

「魅力発見ラボ」や「いわて留学」、
「習熟度別の授業」などに取り組
み、生徒一人ひとりが地域で活躍
する西和賀高校。高校生活で見つ
けた地域の魅力を伝えます。

写真右から、木村朱里さん(1年)、伊藤奨真さん
(3年)、久保未侑さん(2年)

人のやさしさ、豊かな自然、西和賀町には魅力がたくさん



地元の老人ホームで行われる夏祭り。年代
を超えた交流にぬくもりを感じます。

木村朱里さん◎親元を離れ寮
生活を経験したいと思い、埼
玉県から西和賀高校に入学し
ました。寮は元温泉旅館。毎
日温泉に入れて、食事も美味
しいです。私が所属している
ローイング部(旧ボート部)
は、錦秋湖で練習しています。
ボートから見る自然が作り
出した雄大な景色は最高で
す。
久保未侑さん◎地元の夏祭り
は、子どもの頃から毎年楽し
みにしています。西和賀の魅
力は「地域の人のやさしさ」
です。通学途中に地元の人か
ら「がんばってね」と声をか

「わんこきょうだい」オリジナルグッズが当たる! このまちクイズ

クイズに正解した方の中から抽選で5名様に
わんこきょうだいグッズをプレゼント!

Q 西和賀特産の
山菜といえど何?
こたえ 西〇〇〇

応募
フォーム

いわてグラフ専用サイト



応募締切
10月11日金

けてもらうと元気が湧いてき
ます。
伊藤奨真さん◎J R北上線を
利用して通学しています。ト
ンネルをくぐり抜けた先に広
がる四季折々の風景は素晴ら
しく、特に新緑の時期の水没
林は錦秋湖ならではの美しさ
だと思えます。将来は、県内
の学校で教員として働きたい
と思っています。



JR北上線は今年全線開業100周年。
車窓から錦秋湖の水没林が見えます。

いわて 黄金の marriage マリアージュ

食材の宝庫いわて。旬の岩手県産の食材に、
いわてのオリジナルの品をプラスして
簡単に美味しい一品料理を作ってみませんか。



カボチャ



カラダおもいの農園シリアル

カボチャと「カラダおもいの
農園シリアル」の
簡単チーズリゾット風



シリアルを使って簡単!
カボチャと雑穀の
ヘルシーリゾット。



レシピは
こちら!
いわてグラフ専用サイト

[レシピ監修]
フードプロデューサー/
野菜ソムリエ上級プロ
大平 恭子さん

秋を感じる食材カボチャ。
県内の産直にはいろいろな
品種が並びます。

岩手県産の穀物だけをまる
ごと10種類使った、サクサク
香ばしいシリアル。

岩手県からのお知らせ

お出かけ情報など、その他のお知らせは「いわてグラフ」専用サイトでチェック！



いわてグラフ専用サイト



募集しています



ご存じですか？

「第2回ミセテイワテ動画コンテスト」作品募集

岩手の魅力を発信する動画を募集しています。岩手の自然や街並み、食、暮らし、ものづくり、伝統文化など皆さんが“みせたい岩手の魅力”を動画で表現してみませんか。応募方法は特設サイトをご覧ください。

■募集締切：2024年11月12日（火）

■募集部門：チャレンジ部門（31秒～3分）、
インスタ部門（30秒以内）

■賞金：総額60万円

☎県庁文化振興課 019-629-6286



ミセテイワテ
動画コンテスト
特設サイト▶

消費生活サポーターを募集しています

消費生活に関する情報を身近な人や、地域、団体に伝えるなど、消費生活に関する啓発活動の担い手として活動していただくボランティア「消費生活サポーター」を募集しています。これまでの知識や経験にあわせて、無理のない範囲での活動です。消費生活に関心のある、岩手県内在住の満18歳以上の方であれば、どなたでも登録することができます。詳しい内容は、HPをご覧ください。



☎岩手県立県民生活センター
019-624-2586

動物の一時預かりボランティアの募集と支援のお願い

保護した犬や猫の譲渡を進めるため、譲渡までの一定期間、自宅などで預かるボランティアを募集しています。預かり期間は、短期（30日程度）から長期（1年程度）まで、ご希望に応じます。また、ボランティアが飼育する犬や猫の食餌や治療費などは、クラウドファンディング型ふるさと納税（9月末まで）を活用して支援しています。右記QRコード又は県HPをご覧ください。



さとふる▲
クラウド
ファンディング

☎県庁県民くらしの安全課
019-629-5270

デジタルリスキング実践講座開催

デジタル化によって、業務の効率化や働き方改革を実現しませんか。業績の向上やデジタル人材の育成を図ることを目的とした「デジタルリスキング実践講座」を実施します。カリキュラムは実践的な学びが得られる5種類の講座を10コースご用意。1つからでも受講可能です。特設サイトからお申し込みください。



☎県庁定住推進・雇用労働室
019-629-5585

▲デジタルリスキング
実践講座特設サイト

いわて発熱等相談センターをご活用ください

夜間や休日に、病気やケガなどの判断を迷う場合や、相談する「かかりつけ医」がない場合には、いわて発熱等相談センターをご利用ください。また、日中の場合は、県民医療相談センターをご利用ください。新型コロナや新型コロナワクチンに関する相談も受け付けています。



■平日日中（9時～16時）

県民医療相談センター

電話 019-629-9620

■夜間（16時～翌日9時）・休日・年末年始

いわて発熱等相談センター

電話 0570-059-333 ファクス 050-3816-3649

ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570（住所不要）岩手県広聴広報課

電子メール koucho@pref.iwate.jp

電話 019-629-5110

受付時間 8:30～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

ファクシミリ 019-651-4865 [24時間受付]

ホームページ・SNSで岩手の情報発信中！

県政情報、防災情報、
岩手の魅力情報を発信中
「岩手県広報広聴課X」



「岩手県公式LINE」



岩手県
ホームページ
岩手県



東日本大震災津波伝承館の
情報を発信中

「いわてTSUNAMIメモリアル」



放射線影響対策のお知らせ

野生きのこ採取に当たっての留意点

県は市町村と連携して野生きのこの放射性物質濃度検査を行っています。検査の結果、一般食品の基準値（100ベクレル/kg）を超えた場合、その市町村の野生きのこ全種類を対象に、国から出荷制限が指示されます。野生きのこを採取する際は、県ホームページを参考にしてください。

また、野生きのこを販売する場合は、販売前に自主検査を行い、基準値（100ベクレル/kg）以下であることを確認してください。

※1種類でも基準値を超えると、その市町村の全ての野生きのこが出荷制限の対象となります。

☎【放射性物質濃度検査】県庁県民くらしの安全課 019-629-5270

【出荷制限など】県庁林業振興課 019-629-5775

【全般】県庁復興危機管理室 019-629-6924

県政テレビ番組

■テレビ岩手 …… 月曜日 18:54～19:00
(再放送) 土曜日 21:54～22:00

■IBC岩手放送 …… 火曜日 18:55～19:00

■岩手朝日テレビ …… 水曜日 23:10～23:15

※都合により放送時間が変更になることがあります。

いわて!
わんこ広報室

毎週放送中





あかつ ゆみ
赤津有美さん

福岡県太宰府市出身。大学卒業後、東京で約20年間エンターテインメントの企画ディレクションや脚本執筆などを行う。2022年5月に地域おこし協力隊として花巻市東和町に移住し、成島和紙を中心とした伝統工芸の普及・伝承活動や、商品開発を行っている。

ナシテ? イワテ

ダガラ! イワテ

岩手で暮らしたい、岩手で働きたい、岩手に帰りたい、県外にいても岩手とつながりたい。
さまざまな形で岩手を選んだ方に、なぜ岩手を選んだのか聞いてみました。

憧れの 伝統工芸作家を目指し 地域おこし協力隊として 岩手へイターン

約20年過ごした東京から生活拠点を花巻に移し、地域おこし協力隊として成島和紙を中心に伝統工芸の普及と商品開発に取り組む赤津有美さん。コロナ禍でテレワークが普及し、出勤する機会が減ったことをきっかけに、「このタイミングで夢だった地方暮らしをしよう」と花巻への移住を決意しました。

赤津さんが花巻を選んだ理由には、成島和紙の魅力のほか、宮沢賢治の故郷である岩手への憧れもありました。「花巻の豊富な温泉、いわて花巻空港から地元福岡へのアクセスの良さ、自然と調和した生活環境も魅力です。生涯現役を目指し、成島和紙を国内外に広め、さまざまなことに挑戦していきたいです」。

移住後、自動車運転免許のほか、狩猟・アマチュア無線の免許やグリーンツーリズムインストラクターの資格も取得し、地域交流を深めている赤津さん。「地域



和紙製品や講座の依頼も増えています

インタビュー動画をサイトで公開中

いわてグラフ専用サイト



岩手の仕事・就職情報サイト



「シゴトバクラシバいわて」は、岩手県で働きたい人のための、仕事・就職情報サイトです。県内外の面接会・イベント情報や、岩手の企業情報・求人情報、相談窓口などを紹介します。



の人々の家族のような温かさには支えられています。新たな生活への不安も解消され、アクティブで充実した日々を送っています」と目を輝かせながら話します。

地域おこし協力隊任期終了後も花巻に住み続けることを決意。伝統工芸作家を目指し、赤津さんの挑戦は続きます。

アンケートに答えてプレゼントをもらおう!

- 記事は分かりやすかったですか?(番号で回答)
1非常に分かりやすい **2**分かりやすい **3**普通 **4**分かりにくい
5非常に分かりにくい
 ※ **4**または**5**の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
- 今回の企画で興味を持ったものは何ですか?
- いわてグラフのページ数についてどう思いますか?(番号で回答)
1多い **2**ちょうどよい(12ページ) **3**少ない
 ※ **1**または**3**の方は、希望するページ数をお書きください。[]ページ
- 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

A しわクラフトコーラ 200ml・2本
 3名様
 ①ソレイユ陽だまり 019-613-8718



紫波をテーマにしたクラフトコーラシロップ。「陽だまりテイスト(右)」と「オリジナルテイスト(左)」をセットでプレゼント。

B カラダおもいの農園シリアル 2個
 5名様
 ①尾田川農園 0120-017-359



岩手県産の10種の穀物を使った食物繊維たっぷりのシリアル。P9「いわて黄金のマリアージュ」のレシピをお試しください。

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計8名様にプレゼント!

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望の商品のアルファベット記号(A・Bいずれか)をお書きの上、ハガキ、FAX、電子メール、または右の二次元コードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。■送り先／◎ハガキ:〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課「いわてグラフ9月号・読者アンケート」係 ◎FAX:019-651-4865 ◎電子メール:kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切／2024年10月11日(金)必着 ■当選発表／商品の発送(11月上旬頃)をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

